

## 第 14 回 JACI/GSC シンポジウム 概要

日 時	2025 年 7 月 15 日 ( 火 ) ~ 16 日 ( 水 )
開催場所	一橋大学一橋講堂 ( 一部ライブ配信有 ) 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
主 催	( 公社 ) 新化学技術推進協会
参加予定者数	700 名
後援省庁	経済産業省、文部科学省、環境省
テーマ	Beyond Chemistry

公益社団法人新化学技術推進協会は、持続可能な発展のため GSC を基盤とした化学技術イノベーションの推進を目的として、JACI/GSC シンポジウムを毎年開催しています。

化学産業は我々の社会において、欠くことのできない重要な産業です。自動車、家電製品、日用雑貨、衣料、医薬品、化粧品など、生活の隅々まで化学産業が供給する材料が用いられています。また、ウェルビーイングな社会の実現に向け、資源・環境・エネルギー分野、移動体分野、水・食糧・農業分野、電子・情報分野、ヘルスケア分野、住宅・建築・インフラ・防災分野など、多岐にわたる領域における将来課題を解決するために、その重要性はますます高まっています。

第 14 回 JACI/GSC シンポジウムでは、これらの課題を解決するため従来の化学の枠を超えた新たなアプローチ“Beyond Chemistry”について議論します。経済発展と持続可能な社会の両立を目指し、個々の技術の枠組みにとらわれず、異業種との多様な連携や革新的な技術を基盤に、全体としての最適な解決策を模索します。産業間での協力強化を通じた枠組みを創造し、次世代社会のビジョンを描きます。

皆様のご参加をお待ちしております。





## 7月15日(火) プログラム 1日目

時間	時間	講演
9:30～		受付開始
10:00～	開会挨拶	<b>森川 宏平</b> (公社) 新化学技術推進協会 会長
10:15～	基調講演 (S-1)	<b>半導体材料イノベーション：共創型化学会社レゾナックの戦略</b>
		<b>真岡 朋光</b> 株式会社レゾナック・ホールディングス 取締役 最高戦略責任者 / 最高リスク管理責任者  生成 AI を実現する半導体のパッケージング技術に注目が集まる。レゾナックは、最先端の技術開発を加速するため、国内外の材料・基板・装置メーカーとの共創を推進。本講演ではその活動や海外戦略を紹介する。
11:10～	招待講演 (S-2)	<b>レドックスフロー電池 --- 長期エネルギー貯蔵 (LDES) への貢献と期待</b>
		<b>佐藤 縁</b> (国研) 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門 研究部門長  液体(主に水溶液)に電気を貯める安全安心なレドックスフロー電池については、長期エネルギー貯蔵(LDES)・電力貯蔵にふさわしい技術としても改めて期待される。国内外および我々の最近の取り組みをご紹介します。
11:55～		休憩
13:00～	招待講演 (S-3)	<b>プラスチック資源循環におけるバイオプラスチックの役割</b>
		<b>宇山 浩</b> 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授  プラスチック資源循環におけるバイオプラスチックの役割を紹介する。カーボンニュートラルに貢献するバイオマスプラや海洋ごみ問題の解決につながる生分解性プラの開発状況をネイチャーポジティブへの貢献に絡めて述べる。
13:50～	招待講演 (S-4)	<b>グリーン水素に立脚するカーボンニュートラルエネルギー社会</b>
		<b>石原 達己</b> 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 主幹教授  カーボンニュートラル社会に向けて、現在、種々の取り組みが行われているが、その多くは再生可能エネルギーに期待するところが多い。しかし再生可能エネルギーのみではカーボンニュートラル社会は到達できない。現在、グリーン水素による蓄エネルギーが期待されている。本講演ではグリーン水素の製造法としての水蒸気電解セルとその逆動作の燃料電池により発電を行う可逆動作セルの開発の状況を紹介する。
14:40～	基調講演 (S-5)	<b>未定</b>
		<b>入山 章栄</b> 早稲田大学大学院経営管理研究科 早稲田大学ビジネススクール 教授  未定
15:40～		<b>GSC 賞の紹介</b> <b>松方 正彦</b> GSCN 運営委員長
15:55～		<b>GSC 賞受賞講演</b>
17:15～		<b>GSC賞 表彰式</b>
17:50～		<b>レセプション</b> (如水会館)



## 7月16日(水) プログラム 2日目

時間	時間	講演
9:15～		受付開始
9:30～		<b>JACI 事業紹介</b> <b>片岡 正樹</b> (公社) 新化学技術推進協会 事業統括部長
10:05～	招待講演 (S-6)	<b>固体触媒開発が拓くバイオマス資源からの C4 化成品合成：エリスリトールの水素化脱酸素</b> <b>富重 圭一</b> 東北大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授  化学品合成原料の石油からバイオマスへのシフトが求められている。これに対して、新しいビルディングブロックとして、グルコースやグリセリンから発酵法で得られるエリスリトールに注目し、その水素化脱酸素のための触媒開発について説明する。
10:55～	基調講演 (S-7)	<b>「私たち生きものの中の私」として生きる 一気候変動、エネルギー、戦争を意識して一</b> <b>中村 桂子</b> JT 生命誌研究館 名誉館長  人間は生きものである、自然の一部という当たり前のことが、科学によって明確に示されたのが 21 世紀です。一律の進歩による自然離れを目指したために、環境破壊など多くの問題を起こした科学技術社会を見直し、心豊かな暮らしを求めます。
11:45～		休憩
12:30～		<b>EXHIBITION ポスター発表</b> ポスター発表 (前半) 12:30-13:50 ポスター発表 (後半) 14:10-15:30
15:40～	基調講演 (S-8)	<b>新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現ー IOWN ー</b> <b>川添 雄彦</b> 日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員  気候変動、自然災害など未曾有の危機に対して、それらを事前に予見し対策するには我々の技術は到底足りていない。価値を生み出すデジタル化、破壊的なイノベーションが求められる。しかし、眼前ではデータ量の爆発的増加に伴う消費電力の急増により ICT は持続可能性の危機にも面している。NTT ではエネルギー効率の高い光の技術を軸に持続可能な社会の実現を目指す IOWN を提唱し、推進している。本講演では、IOWN の取り組みを紹介する。
16:40～		<b>ポスター賞受賞者発表</b>
17:00～	閉会挨拶	<b>葛城 俊哉</b> (公社) 新化学技術推進協会 副会長



## 会員・後援団体（予定）

### 公益社団法人新化学技術推進協会 正会員（2024年4月1日現在）

株式会社 IHI	シュレーディングー株式会社	東亜合成株式会社	株式会社ブリヂストン
旭化成株式会社	信越化学工業株式会社	東京応化工業株式会社	古河電気工業株式会社
株式会社旭リサーチセンター	信越ポリマー株式会社	東ソー株式会社	保土谷化学工業株式会社
味の素株式会社	株式会社住化分析センター	東洋エンジニアリング株式会社	丸善石油化学株式会社
株式会社 ADEKA	住友化学株式会社	東洋紡株式会社	三井化学株式会社
出光興産株式会社	住友精化株式会社	東レ株式会社	三菱瓦斯化学株式会社
株式会社イノアックコーポレーション	住友ベークライト株式会社	株式会社東レリサーチセンター	三菱ケミカル株式会社
AGC 株式会社	積水化学工業株式会社	株式会社トクヤマ	株式会社三菱ケミカルリサーチ
ENEOS 株式会社	セントラル硝子株式会社	TOPPANホールディングス株式会社	株式会社モルシス
大阪ガスケミカル株式会社	ダイキン工業株式会社	長瀬産業株式会社	UBE 株式会社
花王株式会社	株式会社ダイセル	日油株式会社	ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社
株式会社カネカ	大日精化工業株式会社	日揮ホールディングス株式会社	株式会社リコー
株式会社クラレ	大日本印刷株式会社	日産化学株式会社	株式会社レゾナック・ホールディングス
株式会社クレハ	大陽日酸株式会社	日鉄ケミカル & マテリアル株式会社	
KH ネオケム株式会社	ダッソー・システムズ株式会社	日本化薬株式会社	
コニカミノルタ株式会社	千代田化工建設株式会社	日本軽金属株式会社	
三洋化成工業株式会社	DIC 株式会社	株式会社日本触媒	
JSR 株式会社	株式会社 Transition State Technology	日本ゼオン株式会社	
JNC 株式会社	帝人株式会社	日本曹達株式会社	
株式会社 JSOL	デンカ株式会社	富士フイルム株式会社	
株式会社島津製作所	株式会社デンソー	富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	

### 公益社団法人新化学技術推進協会 特別会員（2024年4月1日現在）

地方独立行政法人大阪産業技術研究所	公益社団法人高分子学会	公益財団法人地球環境産業技術研究機構	一般社団法人日本膜学会
国立研究開発法人科学技術振興機構	公益社団法人高分子学会高分子同友会	公益社団法人電気化学会	一般財団法人バイオインダストリー協会
一般財団法人化学研究評価機構	公益財団法人相模中央化学研究所	公益社団法人日本化学会	国立研究開発法人物質・材料研究機構
公益社団法人化学工学会	国立研究開発法人産業技術総合研究所	一般社団法人日本化学工業協会	一般社団法人プラスチック循環利用協会
一般社団法人化学情報協会	一般社団法人触媒学会	日本吸着学会	公益社団法人有機合成化学協会
独立行政法人環境再生保全機構	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	公益社団法人日本セラミックス協会	国立研究開発法人理化学研究所
関西化学工業協会	独立行政法人製品評価技術基盤機構	一般社団法人日本塗料工業会	
一般社団法人近畿化学協会	石油化学工業協会	日本バイオマテリアル学会	
合成樹脂工業協会	公益社団法人石油学会	一般社団法人日本分析機器工業会	

### 後援団体（予定）

経済産業省	一般社団法人近畿化学協会	株式会社日刊工業新聞社	公益社団法人日本セラミックス協会
文部科学省	公益社団法人高分子学会	公益社団法人日本化学会	一般財団法人バイオインダストリー協会
環境省	国立研究開発法人産業技術総合研究所	一般社団法人日本化学工業協会	公益社団法人有機合成化学協会
国立研究開発法人科学技術振興機構	一般社団法人触媒学会	日本学術会議	国立研究開発法人理化学研究所
公益社団法人化学工学会	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	株式会社日本経済新聞社	
株式会社化学工業日報社	公益社団法人石油学会	一般社団法人日本経済団体連合会	
関西化学工業協会	公益社団法人電気化学会	日本商工会議所	